

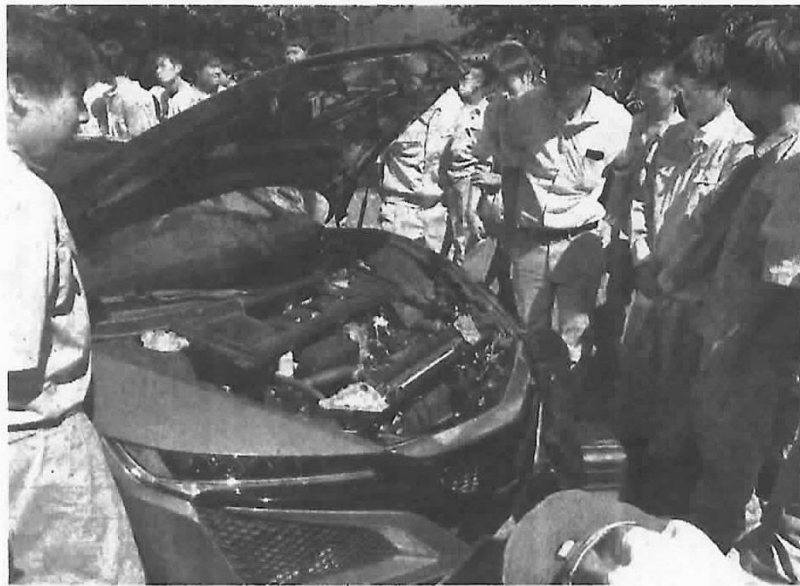
長野日報

自動車のF1シリーズでホンダチームのチーフメカニックを務めた法原淳さん(47)が2日、キャリア講演会として駒ヶ根市の駒ヶ根工業高校を訪れ、機械科3年生40人に講演した。進路決定が迫る生徒らに、夢や目標を持つことの大切さを訴えた。

法原さんは富山県出身。1998年から2008年までF1のエンジニアメカニックを務め、06年ハンガリーグランプリで初優勝を果たした。現在はホンダ学園ホンダテクニカルカレッジ 関東(埼玉県ふじみ野市)の開発エンジニア課長。働くことの意味については「自分の夢を実現することで社会に貢献し、誇りを持って生きていくことだと

## 進路決定 夢や目標持って 法原さん 駒工でキャリア講演会

法原淳さんから説明を受け、高級スポーツカーを見学する駒工生ら



元ホンダF1チーフメカニック

思う」との考えを示した。

憧れだったF1チームでの経験については「ホンダ史に残る仕事をしたいと熱意を訴え、社内選考を通過することができた」。「エンジンの故障が続くなど困難ばかりだったが、どんなに苦しくても一生懸命やってきた。夢だった初優勝を果たした達成感は素晴らしかった」と話し、

「一生懸命やるのが人生の幸せにつながる。皆さんも夢を持ち、実現を目指して努力してほしい」と呼び掛けた。

学校にはホンダの高級スポーツカー「NSX」も登場。生徒たちは興味深そうに、エンジンルームや運転席などに見入っていた。

(高島剛志)